

2026年度（2027年3月期） 連結業績予想修正

2026年7月1日
株式会社西島製作所（6363）

修正通期予想 ～2026年度増益と実質通期利益～

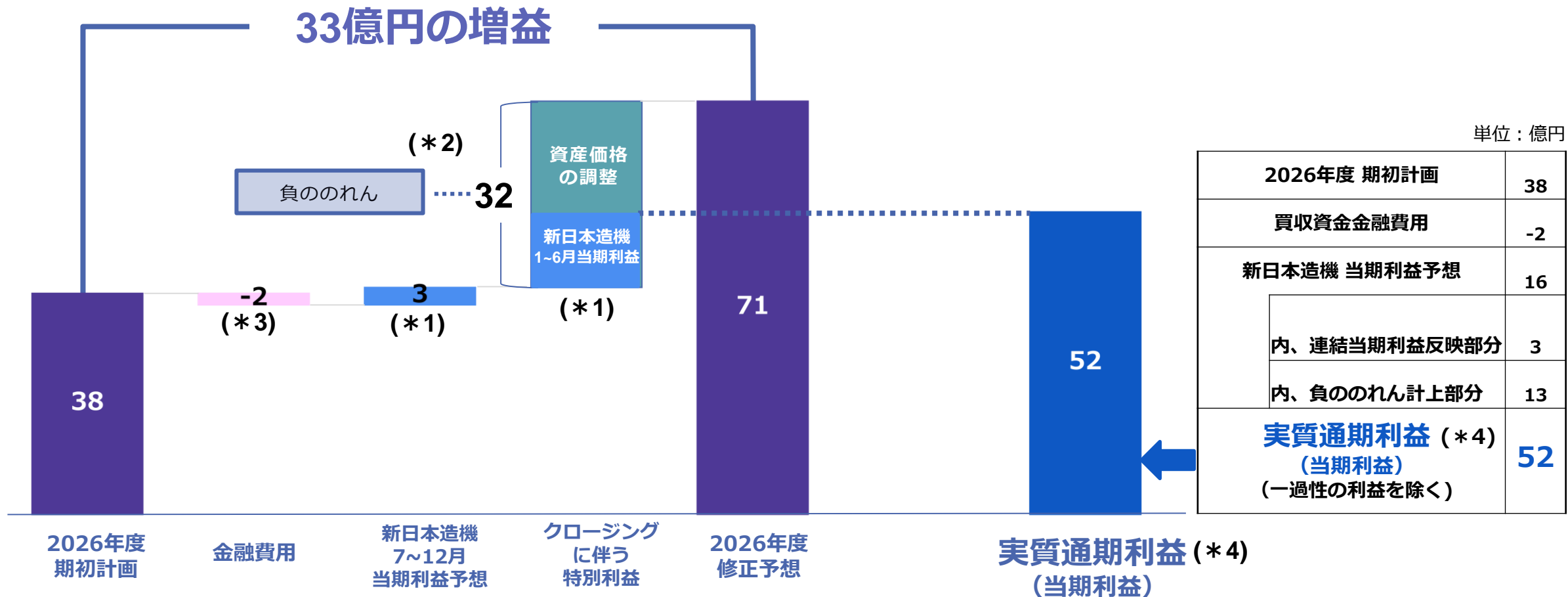
2026年7月1日、新日本造機株式会社の株式取得完了。
同社が12月期決算のため、2026年7月～12月の業績予想を連結します。

【参考】

	期初計画 ①	新日本造機 7～12月 業績予想 (* 1) ②	負ののれん (* 2) ③	金融費用 (* 3) ④	修正予想 ①+②+③+④	新日本造機 1～12月 業績予想 (* 1) ⑤	実質通期利益 (* 4) ①+④+⑤
受注高	960億円	104億円			1,064億円	205億円	1,165億円
売上高	955億円	84億円			1,039億円	183億円	1,138億円
営業利益	52億円	5億円			57億円	22億円	74億円
営業利益率	5.4%	6.0%			5.5%	12.0%	6.5%
経常利益	44億円	6億円		-2億円	48億円	24億円	66億円
特別利益	5億円		32億円		37億円		5億円
親会社に帰属する 当期利益	38億円	3億円	32億円	-2億円	71億円	16億円	52億円

- * 1 **新日本造機業績**：新日本造機の2026年度業績は、通期では計画通り堅調な推移を見込んでいる一方で、当初下期に予定していた中東向け大型案件の売上が2026年6月に実現したことから、利益の大部分が上期計上となる見込み。
- * 2 **負ののれん**：時価純資産の再評価結果により変更の可能性あり。株式売買価格の基準日は、2025年12月31日であるため、新日本造機の1～6月当期利益は、負ののれんとして計上
- * 3 **金融費用**：買収資金調達に伴う追加金融費用（▲2億円）。
- * 4 **実質通期利益**：株式売買価格の基準日は、2025年12月31日であるため、新日本造機の2026年1～12月当期利益予想16億円と買収資金金融費用を通期ベースで連結したとみなした想定数値。

当期利益の増減分析

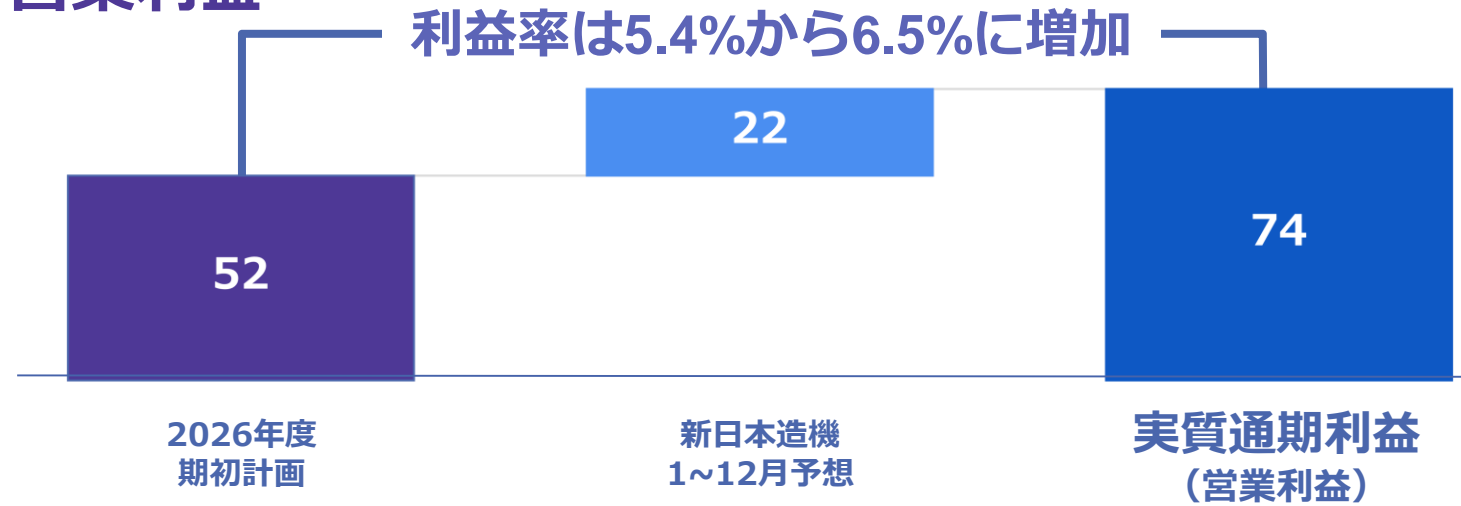


- *1 **新日本造機業績**：当初下期に予定していた中東向け大型案件の売上が2026年6月に実現したことから、利益の大部分が上期計上となる見込み。
- *2 **負ののれん**：時価純資産の再評価により変更の可能性あり。株式売買価格の基準日は、2025年12月31日であるため、新日本造機の1~6月当期利益は、負ののれんとして計上。
- *3 **金融費用**：買収資金調達に伴う追加金融費用（▲2億円）
- *4 **実質通期利益**：新日本造機の2026年1~12月当期利益16億円を通期ベースで連結したとみなした想定数値。

営業利益・経常利益（通期ベース）の増減分析(参考)

新日本造機の2026年1月～12月利益予想を通期ベースで連結したとみなした想定数値。

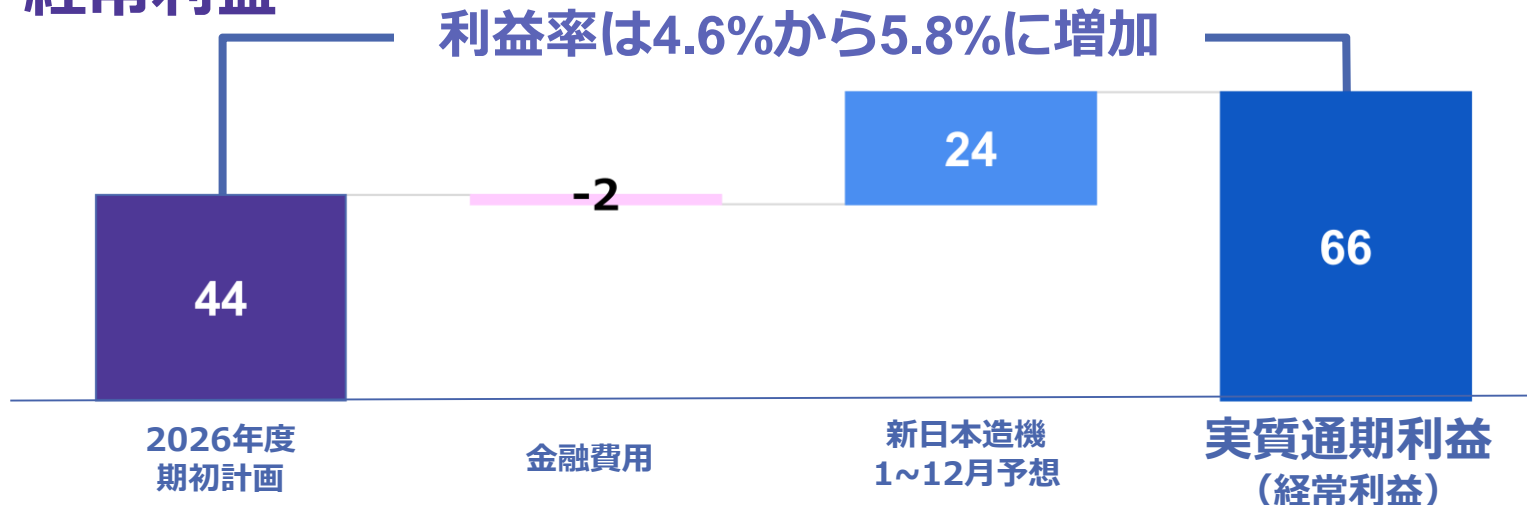
■ 営業利益



単位：億円

2026年度 期初計画	52
新日本造機予想 (1月～12月ベース)	22
実質通期利益 (営業利益)	74

■ 経常利益



単位：億円

2026年度 期初計画	44
買収資金金融費用	-2
新日本造機予想 (1月～12月ベース)	24
実質通期利益 (経常利益)	66

株主還元について

【配当予想の修正】

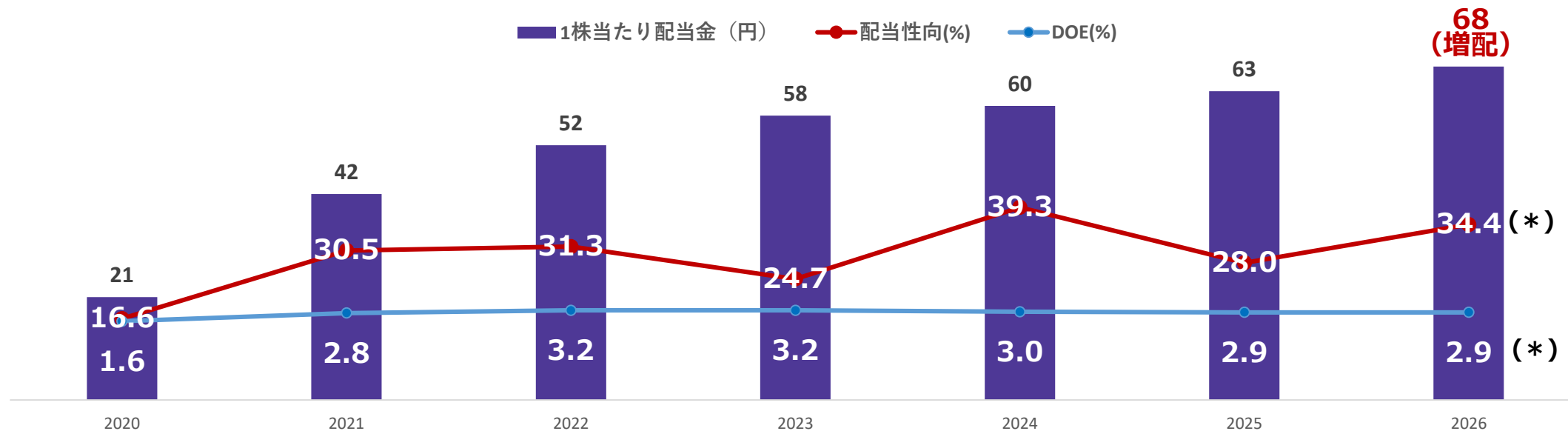
1. 配当方針

中長期の価値創造に向けた投資を優先しつつ、株主還元の拡充を推進

- ・ 累進配当を基本方針とし、減配せず継続的な増配を目指す
- ・ 純資産配当率（DOE）3.0% および 連結配当性向35% を目安に実施

2. 今回修正予想

2026年度：1株当たり68円（前回予想の64円から+4円）に増配



(*) 2026年度 配当性向34.4%・DOE2.9%: **実質通期利益（当期利益）** 52億円をベースに計算した数値。

新日本造機株式会社の株式取得

新日本造機株式会社

1951年創業。世界屈指の技術力・ブランド力を持つ「蒸気タービン」および「プロセスポンプ」のリーディングメーカー。

新日本造機とトリシマの補完的ポートフォリオを融合させ、「社会に欠かせない企業」を目指し、進化を続けます。



1. 事業領域の拡大

世界初「超電導モータ液化水素ポンプ」をはじめ、トリシマは脱炭素社会に向けた水素・アンモニア等の液化ガスポンプの開発が注力分野。

オイル&ガスポンプ市場に強い新日本造機との融合で、脱炭素市場での地位を確立。



2. 販売先のシナジー

蒸気タービンに強みを持つ新日本造機と、発電用ポンプで圧倒的なシェアを持つトリシマの融合により、同一顧客へ回転機械のワンストップサービスを実現。

発電市場向けの競争力を強化。



3. 生産・サービス網の補完

生産能力相互補完のポテンシャル。
新日本造機の世界的に高い競争力と、トリシマが世界各国に保有する営業・サービスネットワークを融合させグローバルな拡販と顧客満足度向上を実現。



「グローバル・トッププレイヤー」へ

本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 経理本部 IR部
Email : ir-torishima@torishima.co.jp